

ここに山がある
山はみんなの生活の場
約50年前に取材を始めた膨大な記録
ここには埋もれさせてはならない歴史が宿る

つなぎ
小 腕
tsunagi
（前巻）二戸郡一戸町
Kotsumagi
Kotsuma

山形国際ドキュメンタリー映画祭2009 特別招待作品

山を巡る百年物語

つなぎ

今こそ
入会（いりあい）を
みんなのキーワードに!!

〔入会〕一定地域の住民が、慣習的な権利により特定
の山林・原野・漁場の薪材・樟脳・魚貝などを採集
することも目的に使用すること。農地の少ない小嵜
の集落住民にとり、小嵜山で得る自然の恵みは生活
に不可欠でした。2009年ノーベル経済学賞
はオストロム教授（米国の、森林や漁業資源な
ど共有財産の運用に関する研究に授与。ま
さに小嵜の人々の主張したことです。

（参考）三笠堂大樹林・Yahoo!百科事典

こつなぎ

山を巡る百年物語

「こつなぎ—山を巡る百年物語」は1960年(昭和35年)に撮影開始、50年後の2009年(平成21年)に完成。明治大正にまで遡る資料映像も駆使した、日本の山と人を巡る深遠なドキュメントである。大正時代に始まる、岩手県二戸郡一戸町小繋地域の、入会権裁判の記録と、現在の暮らしを柱に展開する本作は、地域で生きていくための権利を求める闘いを通して、東北農民の暮らしをつぶさにとらえ、大正から平成に至る日本の軌跡をあぶりだす。そして往復書簡のように過去と現在を行き来して、これからの農業の姿や社会のあり方を示唆し、人と自然の共存や、生活するということへの根源的問いかけを投げかける。

本作は2009年に山形国際ドキュメンタリー映画祭で、特別招待作品として1回上映されただけにも関わらず、キネマ旬報ベストテン文化記録映画部門で第二位に選出され、10点満点を付けた評者の最も多い作品となり、その質の高さを証明した。

映画「こつなぎ」上映運動をすすめる岩手の会(発起人・よびかけ人)

早坂啓造(岩手小つなぎの会世話人代表)／藤井克己(岩手大学学長)／三浦黎明(岩手県立大学名誉教授)／澄川嘉彦(映画「タイムグラ」監督)／吉成信夫(森と風のがっこう代表)／佐々木良博(弁護士)／斎藤純(盛岡映画祭実行委員長)／加藤善正(岩手県生協連会長理事)／佐々木良一郎(岩手県森林組合連合会代表理事)／打田内裕子(NPO参画プランニングいわて)／植田朱美(NPO参画プランニングいわて)／河野和義(株式会社八木澤商店社長)／高畑義人(岩手大学農学部学長)／山本信次(岩手大学農学部准教授)／酒匂徹(自然農園ウレシバモシリ)／宮脇善雄(岩手小つなぎの会)／西岡昭(岩手小つなぎの会事務局長)／山中正信(岩手小つなぎの会前事務局長)／三須田善暢(岩手県立大学)／千田功平(弁護士)／石田吉夫(弁護士)／海妻矩彦(岩手県立博物館前館長)／玉真之介(岩手大学副学長)／谷藤裕明(岩手県市長会会長)／稲葉暉(岩手県町村長会会長・一戸町長)／岡田秀二(岩手大学農学部教授)／渡辺喜代子(岩手県母親大会連絡会会長)／村山敬一(元奥中山農協組合長)／寺田旭(岩手県畜産農協代表理事組合長・元前森山集団農場長)／野里征彦(小説家)／菅野征雄(元岩手県農協中央会)／小島進(ちいさな野菜畑代表)／山田裕幸(山田総合労務事務所所長)／小野寺正光(みやこ映画生協理事長)／佐々木寛(日本文化厚生農協連合会顧問)／村上照(元岩手県教職員組合中央執行委員長)／野原修一(元岩手県開拓振興協合理事長)／鈴木露通(いわて労連議長)／萩原武雄(いわて食・農ネット代表)／伊藤利巳(岩手県農村文化懇談会代表世話人)／小松原進(年金者組合岩手県本部委員長)／宮手毅(岩手県歴史教育者協議会)／北館賢(岩手県歴史教育者協議会)／藤井茂(財新渡戸基金企画部長)／関根成一(奥中山高原農協乳業代表取締役社長)／渡辺基(岩手農科大学学長)／林雅秀(岩手県森林総合研究所東北支所)／丸田善明(岩手真宗会館館長)／菅野敦子(一戸町議会議員)／大矢邦盛(盛岡大学教授)／仁昌寺正一(東北学院大学教授)

順不同・敬称略

連絡先／映画「こつなぎ」上映運動をすすめる岩手の会(岩手県生協連内)

■世話人代表 早坂啓造 ■事務局長 加藤善正

TEL:019-684-2225 FAX:019-684-2227

メールアドレス

sn.ikenren@todock.jp

映画「こつなぎ」盛岡市上映会(上映時間120分)

日時・会場

6月9日(水) アイーナホール(7階)
①13:30～ ②16:00～ ③18:30～

7月31日(土) プラザおでって・ホール(3階)
①10:30～ ②13:30～

入場料

大人 1,000円
(当日1,500円)

大学生以下 800円
(当日1,000円)